

2026年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

(問い合わせ先) 生産性センター業務課 TEL : 077-537-1176

コース番号	011	訓練分野	B.組織マネジメント・リスクマネジメント
コース名	災害時のリスク管理と事業継続計画		
正式な コース番号・ コース名	26-25-12-059-011 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 一 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026年7月14日（火） 9:30～16:30（昼休憩 12:30～13:30） 受付開始 9:10 9:20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分 無料駐車場有（事前予約不要） TEL : 077-537-1176		
対象者	中堅層・管理者層 <ul style="list-style-type: none">● 災害発生時に緊急対応を担当する方● 突発的な自然災害のリスク管理体制を強化したい方● 事業継続計画を策定したい方		
習得する スキル等	<ul style="list-style-type: none">● 災害が発生した際にも復旧の遅れや会社のサービスが供給できることによる顧客離れを防ぎ、事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識		
ポイント	突発的に発生する災害リスクを基本的に管理し、企業の事業復旧に至るプロセスを順序立てて構築する事業継続計画（BCP）の作成手法を体験型研修によって学びます。		
	<p>1 災害におけるリスクマネジメント</p> <p>(1) 企業を取り巻くリスク全般と分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業を取り巻く多様化したリスクの洗出しどと分類 ・ リスクに対して行うマネジメント活動 <p>(2) BCPとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「事業継続計画（BCP）」の基本的概念、定義、必要性 <p>(3) BCPの狙い、他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の防災計画との比較、BCP策定率分析 ・ BCPが訴求している基本的な留意点 <p style="text-align: center;">【演習①】過去に経験した災害リスク（セルフワーク）</p> <p>2 事業継続計画の策定</p> <p>(1) 世の中の変化・地球の変動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業経営に影響を及ぼす自然災害などの多発や社会的な要求 ・ 厳しさを増す企業を取り巻く環境変化の読み取り、対策立案 <p>(2) 災害事例（全国・地域）</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・発生した自然災害やパンデミックの種類、規模、被害、現状など ・全国規模、当該地域に応じたデータ分析と防災・減災のための対策立案 <p>(3) 今後、想定しておくべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨大地震、台風・洪水、火山噴火、感染症パンデミックなどの想定 ・各種ガイドラインなどに基づく施策検討 <p>(4) BCP作成の流れ（ステップ I～VI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針策定および推進体制構築～初動対応フロー作成～BCP定着 ・各ステップの意義、目的、対応策 <p style="text-align: center;">【演習②】BCP自己診断チェックリスト（セルフワーク）</p> <p>3 事業継続計画の周知と改善</p> <p>(1) 周知と改善の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応要領作成や定期的な教育・訓練の実施 <p>(2) 事業継続力強化計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業にとって取り組みやすい事業継続力強化計画の概要 ・事業継続力強化計画認定の取得方法、メリットなど <p>(3) 参考情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知に必要な地震等に関する基礎知識 ・日常生活において周知しておくべき対策 <p style="text-align: center;">【演習③】復旧優先順位の決定（セルフワーク）</p>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 人	受 講 料	3,300 円（税込）
使用ソフトウェア	-		
持参品等	筆記用具		
備 考	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		